

都市整備

大村公園を、さらなる花でいっぱい!!



● 永尾 高宣 議員

大村公園では、春の「ソメイヨシノ」をはじめとした数々のサクラに続き、今年も「花菖蒲」が見事に咲き誇っている。さらに皆さんに楽しんでもらうためにも、玖島川沿いの老木のサクラを「河津桜」に植え替え、さらに新たに「アジサイ」を植えることはできないか。また、安全確保のため、玖島川の護岸修復、浚渫、遊歩道の整備はできないか。今、観光は「花と食」で人が集まるため、これらの取り組みが必要である。

答

玖島川沿いの桜については、老木で樹勢の弱ったものを目立っているため、植え替えを検討したい。また、玖島川の整備について、遊歩道に関しては市道の路肩の拡張による歩行空間の整備などを検討し、護岸修復に関しては石積みの緩みが一部で見受けられるため、調査・点検し、必要な改修を行い、浚渫に関しては景観上重要な水辺空間であるため、状況を見ながら検討したい。

都市整備行政について



● 朝長 英美 議員

野岳湖公園について、年間利用者数とオートキャンプ場の設置は可能なのか。また、森園公園について、年間利用者数と幼児向けの遊び場の設置は可能なのか。

答

野岳湖公園については、平成28年度の年間来園者が約9万9,000人であり、オートキャンプ場の設置は、現在計画していない。また、森園公園については、1日当たりの来園者は300人程度と推計しており、遊具の設置は、平成25年度に策定した再整備計画で計画していたが、諸般の事情により計画を凍結しており、今後の検討事項である。

総合運動公園の日よけ対策について



● 宮田 真美 議員

総合運動公園を利用する市民から、「日よけになるものがなく、日差しがきついので木を植えて、木陰をつくってほしい」との要望があったが、市の見解を尋ねる。また、現在テントが2張り用意されているが、誰でも気軽に利用できるように、簡易テントを準備して、市民に広く知らせてほしい。

答

総合運動公園の日よけ対策として、公園内に樹木を植栽しているが、まだ十分な木陰を提供できていない。現在整備途中であり、当面は貸し出し用テントの利用をお願いしたい。なお、テントはどなたでも利用できるが、利用の際は、保管倉庫の鍵をシーハットおおむらに受け取りに来ていただきたい。また、簡易テントの設置は考えていないが、小型テント等の導入や、夏季の一定期間にテントの常設を検討する。

行財政・一般

市長の政治姿勢  
「新市庁舎建設」について



● 岩永 慎太郎 議員

新市庁舎の建設については、「現地周辺を建設予定地」とすると結論が示されたが、市庁舎建設意見交換会などにおいて、市民からは「市の都市軸、ランドデザインを考慮すべきである」、「未だ市民のコンセンサスは得られていない」等々、多くの否定的な意見が寄せられている。「安全性」、「利便性」、「経済性」、「早期実現性」の視点が判断基準となっているが、「現地周辺」が優位となった理由を尋ねる。

答

現地周辺を選定した理由については、最短最速での市庁舎建設を目指しているためである。他の候補地である新幹線新駅前で建設した場合は、民間への用地売却益や固定資産税収入の機会損失を生じるほか、古賀島スポーツ広場などの場合は、既存施設の解体費を要するだけでなく、建設までに時間を要することなどから、全体的に考え、現地周辺が最適であると判断した。

